

# 日本成長戦略：2040年に向けた産業再興のロードマップ

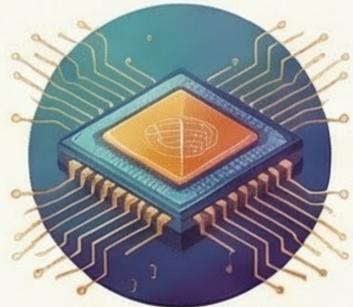
## 重点分野と野心的な数値目標

**AIロボット：2040年に世界シェア30%超（20兆円市場）**  
フィジカルAIを軸に、日本がグローバルで勝ち筋を持つ領域として特定。

## 主要な先行項目の定量目標



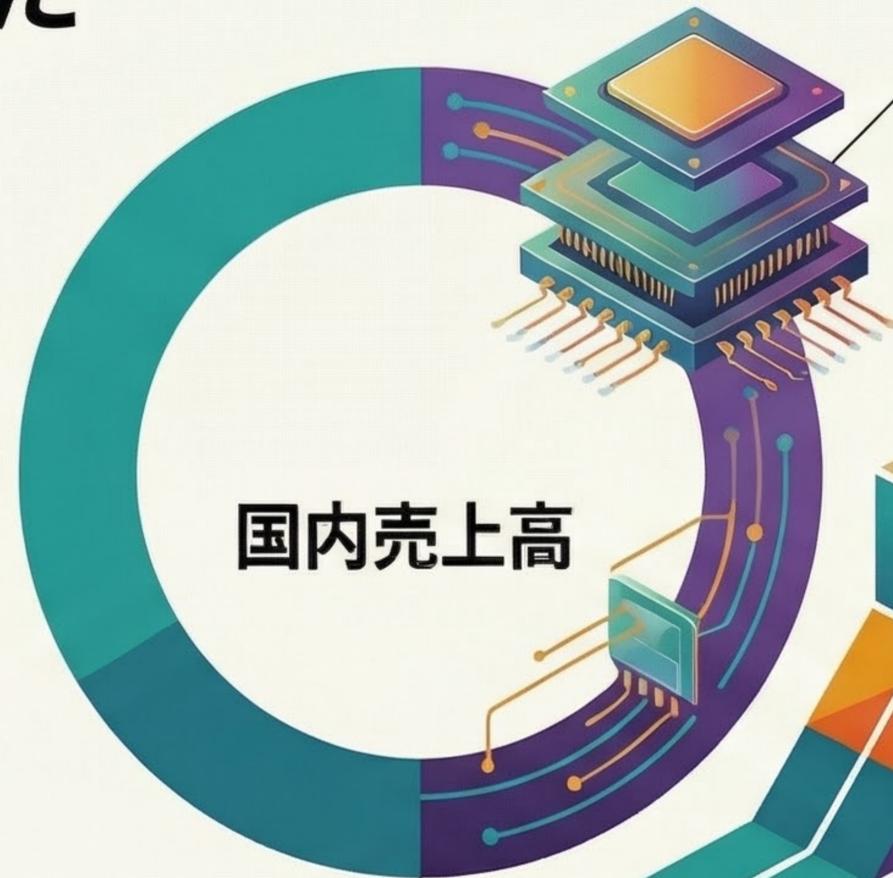
次世代組船：国内建造量  
1,800万総トン | 2035年



量子計算：1万物理量子ビット  
（国産システム） | 2030年頃



官民投資拡大：  
年間20兆円規模  
（GDP比5%程度）  
| 年次目標



**半導体：2040年に国内売上高40兆円を達成**  
2030年の15兆円目標から、AI需要を背景にさらに規模を拡大。

**61の重点品目を選定し「勝ち筋」を具体化**

国内リスク低減と海外市場獲得の観点から、官民投資を集中させる品目を審査。

## 政策ロードマップと評価の論点



2026年夏  
「骨太方針」へ  
効果試算を反映

内閣府モデルを用い、GDPや歳入への重量的な影響を提示する方針。



国内外からの期待と  
「実装」への懸念



危機管理投資と  
成長投資の  
「別枠管理」を検討

財務大臣に対し、財政規律と投資促進を両立させる新たな株組みの検討を指示。